

# 社会福祉法人浅間福祉会 令和4年度運営方針

「希望を叶える年」 ～それぞれの希望を先ず一つ叶える年～

## 1. 利用者の確保

- ・入所平均 70.0 名、通所平均 24.0 名、居宅 50 件/月、あさがお満床を目標とする。  
収支状況の改善が見通せない現状では新たな施設改修に着手することはできない。今年度上記利用者数を確保出来れば、収入面で前年比 3000 万円余（入所 1700 万、通所 900 万、あさがお 400 万）の収支改善を図るため目標利用者数の確保を目指す。
  - ①強化型施設として在宅支援・在宅復帰を支援する。
  - ②提供するサービスの充実（利用者・家族の利用満足度向上・在宅を意識したケア）
  - ③入所調整の短縮（情報なくても）、利用者・家族に沿った退所指導・支援の統一と一元化
  - ④施設の特徴を打ち出す。（認知症対応・リハビリ施設・看取り機能）

## 2. 相手に寄り添う接遇の実践

コロナ禍で施設内での生活を家族に伝えにくい状況の中、どんな場面であっても相手に寄り添う姿勢・介護技術が提供できるように実践する。制約の多い施設生活の中での楽しみが一つでも増やせる取り組みを工夫して提供する。

## 3. 業務改善と効率化

- ・チーム体制も定着してきた中で、通信・情報機器のネットワーク化、介護ソフトなどを最大限に活用して、事務作業を減らし時間内で業務が終了できるように、さらに負担軽減の方策を図り業務改善につなげていく。また、電子カルテ化したことで不都合が生じている点については課題を出し合い調整していく。

## 4. 新たな加算の取得

昨年度の報酬改定に際して取得可能な加算については取得することが出来た。今年度は、LIFE 関連の各種加算を始め、獲得できそうな加算取得を検討して全職種職員が理解して進める。加算のための加算でなく、利用者へのサービス向上と専門職のスキルアップを図るための加算取得であることを認識して全職種が加算内容を理解し参画する意識を持つ。  
さらに、運営上の改定項目 - 業務継続計画（BCP）（経過措置あり）については、本計画の周知、虐待・感染症・事故・ハラスメント対策は現状のマニュアルの再点検やシミュレーションの実施準備、その後、組織体制の整備、災害・復旧までのライフライン（自家発電）の整備など順次準備を進めていく。

## 5. 新たな処遇改善

2月より介護職員等処遇改善支援加算が新設され、当法人では3月10日支給分より「処遇改善支 hands 手当」として全職員を対象に支給を開始した。今後も、経営環境が厳しい中ではあるが、新たな職員の処遇改善を図ることを目指すには、処遇職員の仕事への意識向上、専門職としての資質向上が重要要件となる。職員ひとり一人が意識を持ち、具体的な取り組みを検討する。また、新たな処遇改善を実施していくため、そのための資金が確保できるか前半期の収支改善状況を見極めて判断する。

## 6. ルール遵守・仕事への姿勢・助け合い

- ・法令の遵守、ハラスメント撲滅、虐待・身体拘束の禁止を職員全員で常に確認する。また、新型コロナ始め感染症対策の遵守（私生活での感染対策・行動制限）、職場ルールの遵守（希望休、勤務変更、チーム異動など）、緊急事態等への協力（応援、勤務変更など）、上長の指示・命令などへの協力姿勢をもって取り組む。

## 7. 職員の育成・確保（人事考課の見直し）

- ・人材の採用・育成・定着については、引き続き重点課題として取り組む。また、人事考課制度について引き続き検討課題とする。採用については、組織の活性化を図るためにも新卒を含め新たな職員を採用していくことは重要であり、今後はハローワークだけでなく民間の求人情報も活用して直接雇用につなげる。

## 8. 経費節減を図る

- ・使い捨ておしぼりの評価検証を行う。依然としておむつの支出金額が増加傾向にあるので再度使用状況を確認し使用方法やあて方について検討する。光熱水費や備品・消耗品の抑制には個々の節減意識が重要であり、忘れてしまうことも多々あるのでお互いが注意し合い照明、冷暖房、風呂、洗面、日用消耗品、事務用品などの節減に、具体的に月間目標などを示して取り組む。

## 9. 地域貢献事業を行う

- ・コロナ禍での地域貢献策を引き続き模索検討する。昨年度に引き続き「おうちで出来るかんたん体操」を始め、リハビリ科以外にも材料提供してもらい地元地域に発信していけるよう進める。また、従前のおおりの、法人が有する人的・物的資源を地域で生かせるよう働きかけしていく。非常災害訓練についても、さらに地域との連携が図れる方法を検討する。

# 社会福祉法人浅間福祉会『法人文化』

## 法人理念

- 一. 当法人は、地域の方々の幸せに貢献いたします
- 二. 当法人は、利用者の方々の幸せに貢献いたします
- 三. 当法人は、職員の幸せに貢献します

## 五心

- 一. 感謝 ありがとうございますの心
- 二. 使命 守る心
- 三. 忍耐 耐え忍ぶ心
- 四. 誇り プロの心
- 五. 利他 相手を想う心

## 行動指針

- 一. 幸せを願うこと
- 二. 努力し、成長すること
- 三. 誠実に生きること
- 四. 人に優しくあること
- 五. できる奉仕をすること